埼玉医科大学医学部
同窓会会報

第38号

平成19年6月

巻　頭　言

副会長　伊藤（いとう）　彰紀（あきのり）

青葉をわたる風が初夏を告げる季節となりました。同窓会の会員の皆様には益々ご清福のこととおよろこび申し上げます。平素より同窓会活動にご理解・ご協力を賜り，心より御礼申し上げます。

さて，今年の冬は半世紀ぶりの暖冬と言われたほど穏やかで，インフルエンザの流行も例年ほどではなく，例のタミフル問題も臨床の場でパニックを起こさずにすみました。ところが，今度は麻疹が大流行し，多くの高校や大学が休講となり，様々なところに影響が出ています。身近なところでは小生は大学でバスケットボール部の顧問をしていますが，関東医歯薬科大学トーナメントで男子の対戦校が麻疹のため参加出来なくなり，第一戦目は不戦勝という珍事が起きました。日本で麻疹をはじめ種々の予防接種が普及しない原因は，一般市民のワクチンに対する根深い不信感によると思われます。我々の扱う領域では，1993 年に MMR ワクチンが中止となってから，流行性耳下腺炎の患者が増え，結果的に子供のムンプス難聴が増加しているように思います。この難聴の特徴は片側ですが，高度の難聴で難治性です。予防接種の大切さを国民全体に是非再認識してもらいたいものです。

ところで，大学での最近の話題といえば，本年４月１日に日高市に埼玉医科大学国際医療センターが開設されたことでしょう。高度の先進医療に特化した病院であり，グローバルスタンダードを目指すという意味で国際医療センターの名称が付けられています。また，地域医療に根差した連携ネットワークを構築し，患者中心主義を貫くことを基本理念として掲げています。当初は 350 床ほどで開院していますが，予定ベット数は心臓病センターとして 200 床，包括的がんセンターとして 300 床，そして救命救急センターとして 100 床の合計 600 床という立派な施設です。同窓会としては，この国際医療センターの開院祝いを兼ねて大学に AED を寄贈しました。同窓生の皆さんも国際医療センターを是非見学して頂き，この新病院の発展のためのご支援をお願いたいと思います。国際医療センターの滑り出しは好調と聞いていますが，毛呂の本院と付属病院を二分したことになり，その結果両方の病院機能に歪みが生じているのも事実です。その辺を今後どのように解決して行くか問題でありますが，長期的な視野に立ち徐々に修正して行くことになるでしょう。

話は変わりますが，毎年６月に東日本私立医科大学同窓会連絡会（通称東部会）が開催されます。今年は東海大学医学部同窓会（星医会）が幹事で６月２日（土）に新宿の京王プラザホテルで行われました。埼玉医大の同窓会からも，稲葉宗通副会長，丸木清之副会長，そして小生の３名が出席しました。今回の特別講演の演者は，前東海大学医学部付属病院副本部長の堺秀人先生で，テーマは「東海大学医学部・付属病院における経営改善」でありました。講演の内容は，経営改善の積極的な取り組みで東海大学病院の赤字を黒字に転じ，最近では経営状態が良い大学病院の上位３校の中に入るまでになったという主旨でした。少々 eccentric と思われる内容も含まれていましたが，公演後の質疑の際には，病院経営だけでなく医院の経営にも参考になったという出席者から賛辞の声が多数聞かれました。その詳細を記述することはでき

ませんが，会員の皆さんの中にも病院や医院の経営者が多数いらっしゃいますので，参考までに書き留めてきた経営改善の大項目だけでも列挙してみます。1）平均在院日数の短縮，入院単価上昇。2）急性期・重症症例への傾斜，その対策のひとつとしてER病棟から一般病棟への移動の過程で受け入れるER後方病棟作成。3）DPCに伴う入院単価の上昇，諸検査は外来で重点的に行うことで外来単価上昇。4）新病棟建設，一般病床300減床，ope室の増加，ERベット増床。5）外部のプロジェクトマネージャーの導入，三菱総合研究所などから。6）職員給与改定，給与委員会の設置，客観考課・情意考課，人件費45％以下を目標。7)医療経費の削減，薬剤・医療材料の仕入れ見直し，委託費の見直し，医療経費35％以下を目標。8）医学部経費見直し，分院の収支改善。等々でした。大学病院だけでなく，多くの病院経営者にも参考になる話でありました。ところが，経営改善とは当然ながら痛みを伴うものであり，懇親会の席で東海大学の同窓生の挨拶の中にもそのような本音が聞かれました。「改革はいいが，その結果職員の給与は雀の涙ほどになってしまった。せめてカラスのおしっこ程度は頂きたい」という話には懇親会の出席者一同から爆笑とともに「うまい」というエールが送られました。やはり経営改善にもバランス感覚が大切なのでしょう。東海大学に労組があればもっと経営改善は容易であったであろうという堺先生の言葉も印象的でありました。

今回の東部会では，女性医師（女子学生）に関する事前のアンケート調査がありました。これは，最近の女医さん問題に焦点を当てたタイムリーな話題提供でした。ニュースによると2004年の時点で女性医師の割合は全国統計で20％程度とされているようですが，29歳以下に限定するとその割合は30％以上になるようです。今回の東部会の調査では，在校生（医学部生）の女性比率19～25％が3校，26～30％が5校，31～35％が4校，36～40％が5校，100％が1校でした。100％が女子医大であることは言うまでもありません。一方，付属病院の女性医師の比率は15～19％が6校，20～24％が5校，25～30％が3校，42％が1校，回答なし3校であり，女子学生と比較して女医さんの在籍率が減少しているのがわかります。ちなみに，埼玉医大では，在校生の女性比率は全学年の平均が39.4％であるのに対し，付属病院の女性医師の割合は15％と，その比率は極端に低下しています。結婚や出産で仕事を離れ，その後の復帰が難しい場合も多いようです。特に当直の問題も大きいようです。そのような女性医師を優遇するための制度が埼玉医大では昨年度から設けられています。具体的には週4日以上（24時間以上）勤務，日勤だけで当直はなし，給与は当然常勤並とはいかないが勤務時間に見合ったものであり，社会保険を始めとする身分保障は常勤と同様というもので，仕事と家庭の両立を目指す女性医師にも適した制度と言えます。女子医大では医療現場を暫く離れていた医師に対する再訓練制度もあります。同窓生の女性医師の方々もこのような優遇制度を活用して病院勤務に復帰して頂きたいものです。

本会誌にも掲載されていますが，同窓生の松田晃先生（7期生）は前述した国際医療センターの造血器腫瘍科の教授に昇格されました。本院の方では消化器・一般外科の篠塚望先生（8期生）と皮膚科の倉持朗先生（8期生）も教授に昇格されました。同窓会として心よりお祝い申し上げます。

同窓会では，会員の皆さまの会費納入のお手間を軽減させる目的で，会費の自動振り替え制度の導入を検討中です。総会で承認されましたら会員の皆さまに早速ご案内致します。今後とも同窓会への尚一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

末筆ながら，会員の皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

お　知　ら　せ

第9回埼玉医大・入間地区医師会産業医研修会開催のお知らせ

平成19年度（第9回）産業医研修会（基礎－後期・実地，生涯－更新・実地・専門）の日程が決まりましたのでお知らせいたします。プログラムは下記の通りです。
皆様のご参加をお待ちいたします。

プログラム　　日医申請中　2007年

10　月　7　日（日）

時　間	テーマ・講師	取得単位内訳
9時50分	挨拶　埼玉医科大学・入間地区医師会産業医研修会計画委員　和田　攻	
10時−12時	(1)中小企業の過重労働者面接指導のすすめ方/義務化を迎えて 埼玉産業保健推進センター所長　和田　攻	基礎：後期(2) 生涯：更新(2)
12時−13時	昼食	
13時−15時	(2)メタボリックシンドロームと定期健康診断/改正と保健指導 埼玉産業保健推進センター所長　和田　攻	基礎：後期(2) 生涯：更新(2)
15時−17時	(3)これからのトータルヘルスプロモーション/意義と実践 北里大学医学部長　相沢　好治	基礎：後期(2) 生涯：専門(2)
17時−18時	(4)騒音職場の衛生管理−ビデオ− 埼玉産業保険推進センター相談員　武石　容子	基礎：後期(1) 生涯：専門(1)

10　月　8　日（月）

時　間	テーマ・講師	取得単位内訳
10時−12時	(1)保護具とその使い方 十文字学園女子大教授　田中　茂　他3名	基礎：実地(2) 生涯：実地(2)
12時−13時	昼　食	
13時−15時	(2)職業性呼吸器疾患とその管理 埼玉医科大学呼吸器内科教授　金澤　實	基礎：後期(2) 生涯：専門(2)
15時−16時	(3)うつ病の早期診断について 埼玉医科総合医療センター神経精神科教授　堀川　直史	基礎：後期(1) 生涯：専門(1)
16時−17時	(4)産業医に必要な栄養指導 埼玉医科大学栄養部部長　竹内　恭子，同次長金胎　芳子　他2名	基礎：実地(1) 生涯：実地(1)
17時−18時	(5)特定化学物質薬による障害予防の基礎知識−ビデオ− 埼玉産業保険推進センター相談員　宇佐美　隆廣	基礎：後期(1) 生涯：専門(1)

平成２０年度医学部入学試験日程

募集人員　100名（推薦約10名）

推薦入試

出願期間	11月1日（木）～11月14日（水）
試験日	11月18日（日）
合格発表	11月21日（水）

一般入試

	前期	後期
募集人員	55名	35名
出願期間	12月17日（月）～1月25日（金）	12月17日（月）～2月15日（金）
試験日	一次試験　2月 3日（日） 二次試験　2月10日（日）	一次試験　2月24日（日） 二次試験　3月　2日（日）
合格発表	一次試験　2月　6日（水） 二次試験　2月13日（水）	一次試験　2月27日（水） 二次試験　3月　5日（水）

平成19年度
埼玉医科大学医学部オープンキャンパス開催のお知らせ

第1回　；　平成19年7月22日（日）　　会　　場　；毛呂山キャンパス
第2回　；　平成19年9月16日（日）　　受付開始　；　9時30分

参加を希望される方は、事前にお申し込み下さい。

問合せ先　；埼玉医科大学医学教育センターオープンキャンパス担当事務
049-276-1109（大学事務部　学生課）
または、049-276-1112（同窓会事務局）

＊詳しくは埼玉医科大学ホームページをご覧下さい。

海外留学奨励助成金の公募について

医学部同窓会では、正会員の海外留学を支援するために、助成金の公募を行っています。募集要項及び助成金申請書をご希望の方は、同窓会事務局までお問い合わせ下さい。

＊申請資格

埼玉医科大学医学部同窓会正会員で、１年以上継続して医学研究のため海外留学を予定し、応募年度までの年会費を完納している者。

＊募集期間（毎年）

前期　2月１日～7月 31 日　　後期　8月１日～1 月 31 日

ご注意下さい・・・

◆ 事務局職員や同窓生を名乗り、皆様の住所を調査するために、皆様の勤務先やご実家などへ電話をする業者があるようです。
事務局では電話で皆様のご住所を確認することは一切いたしておりませんのでご注意下さい。

◆ 同窓会事務局では、皆様にご提供頂いている個人情報の管理につきましては、細心の注意を払っておりますが、会員名簿を利用したと思われる、悪質なセールスや各種の勧誘等を目的とした迷惑電話やメールについてのお問い合わせを頂いております。

皆様には、会員名簿の取り扱いにつきましては、十分ご配慮頂き、**会員以外への譲渡や貸与等ご遠慮頂く様**お願いいたします。

埼玉医科大学医学部同窓会　総会速報!!

会長交代　－相木会長，お疲れ様でした－

編集長　柳澤（やなぎさわ）　守文（もりふみ）

去る6月17日に開催された第25回埼玉医科大学同窓会総会の役員改選において，初代会長の相木七良右ヱ門先生が辞意を表明され承認されましたことをご報告申し上げます。

皆様もご存知かと思いますが，1期生の相木先生は偶然にも学籍番号が我が同窓の中では最も若い番号をお持ちで，学生時代から初代学生会会長として活躍され，まだ右も左も判らなかった我々医学生の声を大学側に届けて下さいました。そのような理由で，卒業後の同窓会設立の際には，当然のごとく初代会長に選出されました。今でこそ，埼玉医科大学の名前も全国的に認知され，同窓会組織も他大学に負けない確固たるものとなってまいりましたが，同窓会発足当時は「新設医科大学」だけの理由で，とかく世間からは冷ややかな眼で見られていた状況にありました。しかしそのような逆風の中，相木先生は常にそのカリスマ的なリーダーシップで我々を強力に牽引し続けていただき，埼玉医科大学同窓会を発展させて下さいました。そして，気が付いたらもう4半世紀が経過してしまいました。この間の先生の苦労は如何ばかりであったでしょうか，感謝の言葉も見当たりません。本当に長い間，ご苦労様でした。同窓会としては，相木先生のこれまでのご功績に対して「労をねぎらい感謝する会」を開催したいと考えております。

なお，後任には渡辺雄幸前副会長（3期生）が選出され，7月1日から渡辺新会長の元，新体制で船出することとなりました。

詳しくは次号の会報紙面にてご報告いたします。

相木前会長

渡辺新会長